

---

## 古賀市環境審議会（第 60 回）議事録

---

- 1 期日 令和7年11月28日（金）午後14時00分から午後16時00分まで
- 2 場所 リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室
- 3 出席委員（9名）

会 長	上杉 昌也	副会長	山本 節子	委 員	小山 彰彦
委 員	吉村 綾	委 員	渋田 安広	委 員	佐伯 知康
委 員	新 博司	委 員	須賀 信明	委 員	上妻 秀典
- 4 欠席委員（4名）

委 員	中山 裕文	委 員	福原 達人	委 員	菊次 憲二
委 員	大賀 祥治				
- 5 傍聴者数 なし
- 6 事務局

環境課長（石倉）	資源循環推進係長（安藤）	環境整備係長（有田）
環境課係員1名		
- 7 議事
  - (1) 生物多様性古賀戦略中間見直しについて
  - (2) 令和7年度版古賀市環境報告書（案）について
- 8 配布資料
  - （事前配布）
    - ・当日次第
    - ・第59回審議会 指摘事項と対応方針
    - ・計画前半の成果と課題【資料1】
    - ・生物多様性古賀戦略 中間見直し(骨子案)【資料2】
    - ・令和7年度版 古賀市環境報告書（案）【資料3】
  - （当日配布）
    - ・配席表

## 概 要

---

### 1. 開会

---

- ・事務局が委員の出席状況を確認し、古賀市環境審議会（第 60 回）として成立することを宣言。
- ・環境課長より挨拶。
- ・上杉会長より開会挨拶。

---

### 2. 議事

---

#### (1) 生物多様性古賀戦略中間見直しについて【資料1】、【資料2】

- ・【資料1】に基づき事務局より説明。
  - ・質疑・応答。
- 上杉会長：事務局より生物多様性古賀戦略の成果と課題について説明があった。他の委員の皆様のご意見を伺いたい。
- 小山委員：「重要地域と希少生物の保護・保全」内で「遺伝子配合が進んでいるかなど」と記載されているが専門的な言葉としては適切ではない。学術的に言うと「遺伝的かく乱」や「遺伝子かく乱」となる。一方で専門的用語では読む人にとって難しくなるため、例えば「外来種との交雑」等の方がわかりやすいのではないか。
- また、今回の見直しで課題が示されたが、これらの課題については今後の6、7年で解決していく課題とみなして良いのか。
- 事務局：解決していく課題とみなしている。
- 上杉会長：すべては難しいかもしれないが、見えてきた課題について何かしら対応する姿勢を見せていただければ良いのでは。
- 須賀委員：「環境に配慮した商品の普及啓発」について、市民向けにエシカル消費を呼びかけるといった取組の枠を広げてはどうか。例えば再生可能エネルギーやエコマーク商品、オーガニック野菜等の購入がエシカル消費となる。エシカル消費という言葉を追加しても良いのでは。
- 事務局：ECO チャレンジの参加世帯を広報等で募集しており、取組の中にエシカル消費が含まれているが、エシカル消費について市民に向けて明確に周知はしていないため、追記について検討する。
- 小山委員：生物多様性を守るといった良い面を見ていく項目が多いが、開発による影響を評価するといった悪い面が考えられる項目もあった方が良いのではないか。開発の結果、もともと普通種であるが、古賀市では希少種になっていくという影

響も考えられるため、これ以上悪化しないようにチェックするような項目があれば良いと思う。

○上妻委員： 農地の保全について、高齢化により耕作放棄地が増えているが、今後何か考え等があるのか。

●事務局： 農地の保全については所管課が農林振興課であり、今回の成果と課題についても農林振興課より提示されたものである。今後後半の取組でどこまで生物多様性古賀戦略の中で記載できるか、農林振興課と一度協議したい。

○渋谷委員： 高齢化で農業をできないという方が増えてきている。対策として新規就農者の募集と組合を法人化し、個人ではなく共同で行うといった取組をしている。詳しくは農林振興課と協議してもらえば良いのではないか。

○上杉会長： 今回の成果についてはどのくらいの期間での評価か。

●事務局： 事業の開始時期等によりバラつきはあるが、基本的には戦略が制定されてから5年間の取組について提示している。

○上杉会長： 資料を公開する際は、そこも明記してもらいたい。

・【資料2】に基づき、事務局より説明。

・質疑・応答

○小山委員： 【資料1】で見えてきた課題について【資料2】に反映させなければならないのではないかと。中間見直しをした結果浮き彫りになった課題に対して解決するためのアクションが書かれている方が良いと思う。

13ページに課題について書いてあるが、ネイチャーポジティブやワンヘルスなど、この5年間で新しい概念が生まれ、そのような社会目標を達成するために、残りの後半の期間はこうした取組をより一層推進する、といった内容が記載されていないと2033年までの戦略が成り立たないのではないかと。

○新委員： もし戦略内に取り入れることが難しいというのであれば、例えば、細かな取組ではなく今後の方向性を記載しても良いのではないかと。

○上杉会長： 今から構成を変更したり、取組一つ一つを取り上げていくのは大変であるため、大きな方向性を出して今後の流れをつくっていくことも考えられる。

●事務局： それぞれのアクションの下の方針のところ、見えてきた課題や今後の方針について記載する形で対応したい。

- 小山委員： 14 ページに「ワンヘルス、ネイチャーポジティブの観点を各施策に加えました。」とあるが、それ以降に記載が見られずどこに加わったかわからないため、この取組で加えたということがわかるようにすれば良いのではないか。
- 山本委員： 43 ページの表について、回答が「実行している」、「実行していない」表記になっており、質問内容の「環境保全活動に参加したことある？」に対してはそぐわないのではないか。
- 事務局： 修正する。
- 新委員： 12 ページのグリーンインフラについて、「緑」と漢字で表記されているが、漢字表記だと植物のみを指すと捉えられるので、言い換えが必要だと思う。植物だけではなく、公園や河川なども含めて自然環境が「みどり」であるということ表現できたらより良いのではないか。
- 須賀委員： 48 ページの特定外来生物について、法律や規制内容を知らない方が多いのではないか。放し飼い等は明確に法令違反であることや重い罰則があることを記載した方が今後のためにも良いのではないか。
- 小山委員： 古賀市の外来種に関するホームページの QR コードを掲載しても良いのではないか。
- 山本委員： 51 ページに空いているスペースがあるが、古賀市の民話を紹介したらどうか。
- 新委員： 45 ページの生態系ネットワーク形成のイメージ図について、今描かれている森林だけでは少し足りないと思う。生態系ネットワークとは森林だけではなく、農村や都市、湿地、河川、沿岸までを指すので、山から海まで含めた図の方が良いのではないか。
- 事務局： 相応しい図を探して差替えたい。
- 山本委員： 同じく 45 ページの生態系ネットワークについての説明で、ヤマアカガエルが例として挙げられているが、古賀市ではあまり見つからない。ニホンアカガエルの方がよく見つかるため、可能であればニホンアカガエルを挙げた方が良い。また、アカウミガメも例として挙げられているが、古賀市の海岸で見られるかが不明である。生きもの調査で古賀の海岸ではウナギがたくさん目撃された。例として挙げる生きものについて検討してほしい。
- 事務局： 検討する。

- 吉村委員： 目次が同じ内容になっている箇所があるので修正を。
- 新委員： 47 ページのアライグマ発見件数について、最新のデータが出ているはずだが修正はされるのか。
- 事務局： 県の情報を確認し、最新の情報に差し替える。
- 小山委員： 和暦と西暦がバラバラになってるので、表記の統一を。
- 新委員： 41 ページのぐりんぐりん古賀のリンクが切れているので差し替えを。
- 上杉会長： 可能であれば QR コードのサイズももう少し大きくした方が良い。
- 山本委員： 58 ページの事業者の欄について、2 点目の文末が「配慮が期待されます。」となっているが、「配慮されます。」等と書き換えた方が良いのではないか。
- 事務局： 修正する。
- 新委員： 53 ページの歩いてん道の普及・活用について、前回策定した戦略から登山の表記を削っているが理由があるのか。
- 事務局： 所管課である生涯学習課にヒアリングを実施した際に、登山のコースについては、策定に関わっている方や利用者の高齢化が進んでいることや、先日の大雨で薬王寺付近の登山コースが立入禁止となったことからコースの変更が検討されている。登山コースについては今後なくなる予定のため、登山という記載については削除してほしいと要望があった。
- 上杉会長： 今回委員の皆様から指摘いただいた意見をもとに、事務局は修正等の対応をお願いしたい。大きな課題としては、今後の方向性やアクションといった流れが出せるような修正をお願いしたい。
- ・【資料3】に基づき、事務局より説明。
- ・質疑・応答
- 小山委員： 評価結果の星一つは悪化しているという評価だと思うが、39 ページのリサイクル率については目標値より下回っているから悪化という評価なのか。
- 事務局： ご指摘のとおりのお考え方で評価している。昨年からの伸び率等をふまえて評価した方が良いのではというご指摘だと思うので、評価判断については内部で検討したい。

- 小山委員： 指標によっては目標数値を上回れば良いものと、下回れば良いものがあり、そこが分かりづらく感じた。  
また、評価項目をまとめた全体の報告があれば分かりやすいのではと思う。
- 事務局： 52 ページに評価結果の一覧については掲載しているが、全体の評価の掲載については検討する。また、目標値以上か以下かの記載についても内部で検討する。
- 須賀委員： 34 ページの「デコ活」に賛同した市民の数について、目標値 3,000 人に対して実績が 688 人で星二つの評価だが、目標値から見ると 10 年間で 300 人ずつのペースである必要があるが、どのように評価しているのか。
- 事務局： 基準年度は計画策定のときの状況を示しており、「デコ活」の制度が 2024 年度から始まっているため今回の評価となっている。
- 上杉会長： 注釈等つけた方が分かりやすいのではないか。
- 事務局： 検討する。
- 新委員： 34 ページの公共施設における温室効果ガス排出量の削減割合が 2022 年度の 5471 トンに対し、2024 年度が 7047 トンと増加しているが、何か理由はあるのか。
- 事務局： 一概には言えないが、昨年は排出係数が上がったのが一番の理由と考えられる。
- 小山委員： 実績に年度が記載されていないものがあるが、2024 年度内で行った事業だから記載していないのか。
- 事務局： 実績値については基本的に 2024 年度の数値を掲載している。  
34 ページの評価結果のように、2024 年度以前の統計結果を使用する関係で、2024 年の実績が出せないものについては、その年度の表記をしている。
- 須賀委員： デコ活宣言について市民の数のみで事業者数を入れていないのには理由があるのか。
- 事務局： 昨年度は市民が参加するイベントを中心に宣言いただいた。今後のご指摘のとおり、事業者に対しても意識を高めていただきたいので、対象を拡大した際に事業者についての記載も検討したい。
- 上杉会長： 今回の報告書では今後の課題として記載まではしなかったのか。来年度以降の

報告書で記載予定か。

● 事務局： 今後の取組への記載を検討する。

○ 上杉会長： 今回の審議会で委員の皆様からいただいた意見をもとに、事務局では修正を行っていただきたい。

---

### 3. その他・閉会

---

#### <事務局からの連絡事項>

- ・ 今回の審議会の報酬・費用弁償の支払いについては、12月中の振込を予定している。
- ・ 今回の審議会の会議録を作成次第、委員に送付する。訂正等があれば環境課に連絡いただきたい。最終的には会長に承認いただき、会議録の決定とする。会議録は市のホームページにて公開する。
- ・ 環境課長より閉会挨拶。